

桑原の福祉だより

第37号 (令和7年1月1日発行)



二〇二五年の 新春を迎えて



桑原地区社会福祉協議会
副会長・常務理事
(事務局長)
川野 武仁

新年明けましておめでとうございます。皆様には、輝かしく、晴れやかな新年をお迎えされたこととお慶び申し上げます。昨年も桑原地区社会福祉協議会の事業推進にご支援、ご協力を賜り心から感謝いたしております。

さて、皆様がお住まいの桑原地区は人口約二万六千人。一万二千六百世帯の街でございます。地区社協としては地域の皆様が「治安が良く安全で、安心して暮らしていただける」環境を願っています。

各種犯罪の未然防止。災害発生時の人命救助など「支え合いのところが大切です」。その為にも近隣の挨拶や声のかけ合いが大事であると考えています。これからの地域の独居高齢者、乳幼児、青少年の健全育成に微力ではありますが努めたく、皆様方のご支援ご鞭撻をよろしくお願い致します。結びに、皆様方の今年が幸せで益々飛躍の年でありますよう祈念して新年のご挨拶いたします。

桑原地区各町内会・住民・事業所の皆様には、共同募金に格別のご協力を賜り厚くお礼申し上げます。お陰をもちまして、次表のような成果をいただきました。この共同募金による地元配分金を

令和6年度 共同募金のお礼 桑原地区共同募金会

町内会募金 3,140,300円

東野一丁目	23,400円
東野上	318,600円
東野下	207,500円
東野寺	320,100円
東野味	169,600円
榑連合町内会	550,000円
吟松庵	31,300円
吟松地自治会	32,400円
三町	325,100円
三町愛媛台自治会	21,600円
三町県住自治会	49,000円
松末	246,400円
松末南市住	54,100円
束本	119,000円
束本団地自治会	42,200円
桑原一丁目	110,700円
桑原二丁目	118,700円
桑原三丁目	95,200円
桑原四丁目	95,900円
桑原五丁目	77,200円
桑原六丁目	77,900円
桑原七丁目	54,400円

個人募金 689,800円

合 計 3,830,100円

人間関係は心の支えとなり、 仲間の笑顔は大切な宝物

桑原地区社会福祉協議会 会長

朝山 和孝

現在、六十五歳以上の人口は、三千五百万人を超えており、二〇四二年には約三千九百万人でピークを迎えます。そして、団塊の世代が七十五歳以上となる二〇二五年（令和七年）以降は、国民の医療や介護の需要が、さらに増加することが見込まれています。高齢社会を迎える中で、何を見つめ直せば人の幸福は得られるのか問題になっていきます。

今までの人生で育んできた人間関係は心の支え、仲間の笑顔は大切な宝物となりました。また、特技を生かした活動は人生の励みとして、社会参加することで生きがいになります。桑原地区社協では、人生百年時代を迎え、活動の継続と生きがいづくりを考え、地区ごとにあるサロン活動を支援しております。幸せを感じることが出来る活動として参加をいただければ幸いです。



財源として、桑原地区社会福祉協議会の事業が展開されます。役員一同更に努力してまいりる所存でございますが、今後とも皆様方の更なるご協力をお願い申し上げますとともに改めて御礼を申し上げます。

災害に備えて 防災意識を高めよう

桑原地区自主防災組織連合会 会長

江戸 通敏

昨年は元日に能登半島地震、八月には南海トラフ地震臨時情報が初めて発表されたほか、記録的な豪雨など災害が多い一年でした。近い将来に大きな災害の発生を予想しつつも、自分が生きている内は起こらないでほしいと願う人は多いのでは。かくいう私もその一人であります。

しかしながら、災害は突然訪れます。地震だけではなく、日本は台風、豪雨などの自然災害が発生しやすい国です。様々な災害に備え、日頃からの防災対策をしっかりとっておきましょう。自分の家の安全対策や災害時の身の守り方など、まずは身近な人と話し合うことから始めてみるのも良いのではないのでしょうか。

令和七年が皆様にとって希望溢れる一年となりますよう祈りながら、同時に、災いの神が振り向かないことを願っています。

愛媛慈恵会の歴史

そして現在、未来

社会福祉法人児童養護施設

愛媛慈恵会 施設長

宮崎 博文

愛媛慈恵会は、明治三十四年七月二十六日、松山市鉄砲町の一角に点った小さな灯が代々受け継がれて、現在まで進化、変化を遂げています。多くの子ども達を複数の職員が養育支援する集団養護の時代が長く続きましたが、国も平成十六年に小規模グループケア実施要綱を発出し、全国の児童養護施設で、この取

り組みが活性化されてきました。当施設も例にもれず小規模グループケア施設を建築して、できるだけ家庭に近い環境で共同生活を始めましたが、まだ不十分であると感じていたところ、平成二十八年に児童福祉法が改正、また翌平成二十九年には「新しい社会的養育ビジョン」が発出されました。当施設としても今後はさらに施設の機能を推進するべく計画を検討中で、愛媛慈恵会が社会から有用な施設として認められ、新しいスタイルの施設となるよう、関係機関、地域の皆様のご協力を賜りながら、努力研鑽を続けてゆく所存です。

福祉の充実した 安らぎのある桑原を目指して

桑中高齢者福祉施設交流活動

松山市立桑原中学校 校長

縄村 俊邦

本校では、近隣にある四つの高齢者福祉施設を環境福祉委員と有志で訪問し、交流する活動を年二回行っています。

昨年は、七月、十二月とそれぞれ、総勢約七十人の生徒・教職員が参加し、施設利用者の方と対話したり、一緒にゲームしたりするなど、大変有意義な時間を過ごすことができました。生徒たちもスタッフの方々の姿から、人の優しさや働くことの大変さを体感できたようです。

本校は、教育目標「認め合い、高め合える生徒の育成」の下、「人と人がつながる、地域に愛される学校」を目指しています。

今後も、この活動を桑中の伝統行事として継続することで、福祉の輪を広げ、生徒たちに、これから生きる力を育んでいきたいと考えています。最後に本校の生徒のために、御尽力いただいている皆様に感謝を申し上げ、結びとさせていただきます。

★九月に各町で敬老の日のお祝いが行われ、令和六年度は桑原管内で三九二五人（昨年より三九八名増）の方が祝福されました。敬老会には、桑原地区社会福祉協議会と桑原地区まちづくり協議会から、九十五万円の助成をさせていただきました。

★恒例として行ってきた独居高齢者への給食サービスは、コロナ感染予防のため、翌年二月に民生委員を通じて買い物商品券をお配りし、対象の独居高齢者の皆さんに大変喜ばれました。

発行者
**桑原地区
社会福祉協議会**
朝山 和孝

桑原地区社協理事・援護部長（校区婦人会長）
三好 千代香

十月、桑原・湯築・道後の「お口の老化を防ぐために」のテーマで歯科衛生士の講演が行われました。健康で過ごすために一番大事なことは、口腔ケアであることを気付かせてもらいました。「噛む機能の低下」は高齢に限らず大事なことです。歯磨きをおろそかにしない。「唾液腺のマッサージ」「パタカラ体操」「あいうべ体操」などで口周りの筋力アップに努め、オーラルフレイル予防を推進することが求められています。また地区の交流では「空き家が多くなり防犯が不安」「高齢化による買い物などが不便」「後継者が育っていない」等の多くの福祉課題があり、解決に協力しながら安心して暮らせる町を目指したいと話合いました。



令和六年度 社会福祉協議会顕彰式

令和六年九月

松山市福祉大会の受賞者――

★松山市長表彰

○地域福祉活動功労者

仙波 正

★松山市社会福祉協議会会長表彰

○ボランティア活動功労者

梶原 政子

★松山市共同募金会会長表彰

○共同募金運動奉仕功労者

山内 丞次

高橋 こずえ

○共同募金運動奉仕功労団体

東野上 町内会

○社会福祉施設従事功労者

徳本 修二

（愛媛慈善会）

令和六年十月

★愛媛県社会福祉大会の受賞者――

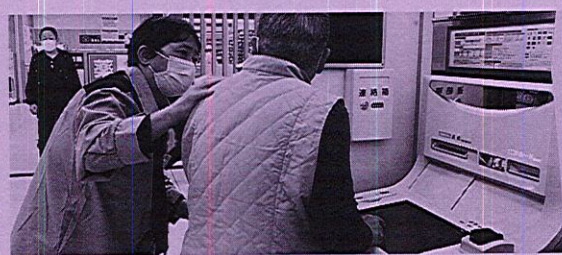
○共同募金奉仕功労者

朝山 和孝

武田 健治

桑原地区社協理事・啓発調査部長（校区婦人会副会長）
川野 美弥子

少子高齢化の比率が増す今日、児童や高齢者が安心して暮らせる街を願うに、特殊詐欺事件やSNS型投資詐欺・ロマンス詐欺など、愛媛県の令和六年九月末現在の認知件数一〇八件、被害総額約八億九千三百万円となっており、特殊詐欺の被害額一億七千七百万円と被害額を大きく上回っています。



十一月にイオン松山で「還付金詐欺から高齢者を守れ」の研修会が開かれ、市民生活課職員、県警の特殊詐欺対策松山南署員指導のもと、桑原地区は各サロンから二名が参加。還付金詐欺の被害者が携帯電話でATMを操作、不審に思った買い物が声を掛け、イオンの従業員につなぎ警察に通報して、被害を未然に防ぐというリアルな研修を行いました。参加者は各サロンにて研修の話をされ、被害防止に努めて頂きますようお願いいたします。



「ふれあいいきいきサロン」に参加してみませんか

桑原地区社協理事・サロン推進部長

土岐 桂子

桑原地区は六サロン、概ね六十五歳以上の方が参加して脳トレや軽い体操・ゲーム・お料理・手芸などを楽しみ、また、生活に役立つ講演を聞くなど、月二回実施の充実した時間を楽しく過ごしています。サロンに参加することにより認知症の予防になり地域との繋がりもできます。

各サロンのお世話役さんは無理のない計画を立て、誰でも参加できるよう創意工夫しています。今年も多くの方が参加して下さいようお願いします。

「ノーマライゼーション」 カギは地域連携

社会福祉法人松山市社会福祉事業団
煙寺福祉センター兼煙寺児童館 施設長

白石 邦彦

煙寺福祉センターは、松山市東部の福祉拠点として、一階に児童館、二階に交流スペース、三階に児童発達支援及び障がい者就業継続支援事業所を設けています。

福祉の理念に「ノーマライゼーション」、即ち「誰もが社会的な役割を担い自分らしく生き活きと生活できる社会の実現」という考え方があります。それには地域連携は不可欠であり、毎年地域の皆様とともに開催している運動会や夏祭りなどのイベントは大事な取組の一つだと捉えています。今後も皆様との連携を大切に、市民福祉の増進に努めてまいりますので、ご理解ご協力をお願い申し上げます。

松山市地域包括支援センター湯築・桑原・道後

サブセンター五明・伊台・湯山

電話（993）5666

センター長 黒瀬 満明

包括支援センターは、地域の高齢者の方やご家族の方からの悩みやお困りごとについて、関係機関の方々と一緒に考えて、解決に向けて必要な支援を行っています。身体が衰えや認知症、或いは虐待、詐欺まがいなど心配になっていること、または漠然とした将来の不安を感じていませんか。そんな時、当センターでは、保健師、主任ケアマネ、社会福祉士といった専門職がお応えしています。また、地域のイベントの際、臨時の相談所を設けて対応したり、学校と連携して子供たちにお年寄りの身体老化を疑似体験をしてみたい、お年寄りに対する理解を深めてもらうなどして、地域全体で、高齢者を支える体制を少しでも進める取り組みを行っています。ご興味、ご要望があれば、遠慮なくご連絡ください。

福祉講座のご案内

地区社協として毎年高齢者対象の福祉講座を開催しています。今年は樺味・三町・東本町内会での開催です。喜ばれる講座を考えますので、皆様方、多数のご参加をお待ちしております。

松山市社会福祉協議会 地域福祉部地域支援課

電話（941）3828

桑原地区社会福祉協議会

副会長・事務局長 川野 武仁

電話・FAX

桑原地区民生・児童委員名簿

東野二丁目一部（6～12）、東野三丁目一部（県営溝辺団地除く）、東野四丁目一部（8）	松本 末子
東野一丁目一部（1～5）、東野二丁目一部（1～5）	土岐 直子
東野一丁目一部（6～10）	井口 佳子
東野五丁目一部（8、9を除く）、東野六丁目一部（5、2～11を除く）、東野六丁目（5、57、58を除く）	山内 丞次
東野四丁目一部（9～12）、東野五丁目一部（7～9）	今井 洋数
東野四丁目一部（1～7）、煙寺町一部（238の一部、769、789、830、831）	岡部 和美
東野六丁目一部（3、4、5、57の一部、58）、煙寺一丁目一部（4、23、48、7、20、22、7、36、38、8、9）	中村 光子
正円寺一丁目	坂川ケイ子
正円寺二丁目、樺味三丁目1、2	出野 義樹
正円寺三丁目	高橋こずえ
正円寺四丁目	金岡 公司
樺味一丁目一部（8を除く）、樺味四丁目一部（6の一部、7～9の一部）	三島 千幸
樺味四丁目一部（1～6の一部、9の一部、15）	宇和 光子
樺味一丁目一部（8）、樺味二丁目、東野一丁目一部（5、25～57）	木下 利幸
桑原一丁目	西村 舞
桑原二丁目一部（1～7）	新名 利恵
桑原二丁目一部（8～13）	森田 和子
桑原三丁目一部（1を除く）	山中 孝子
桑原四丁目一部（2～9）	森重富貴子
桑原四丁目一部（10～17）	梶原 政子
桑原五丁目	黒川今朝幸
桑原六丁目	鹿島 悦子
桑原七丁目	木谷 綾子
煙寺町238の一部（7、42、75、76、9、19、煙寺一丁目1、4、22、5、6、7、11、19、10、13）	富永 顯
煙寺二丁目一部（4、5）、煙寺三丁目一部（8～12）、桑原三丁目一部（1）	泉 裕美子
煙寺二丁目一部（1～3、6～19）	宮崎 正
煙寺三丁目一部（1～7、13～19）	友澤 博光
煙寺四丁目9～16	曾根 道則
煙寺町一部（1～123）、煙寺四丁目一部（1～8）	泉川 彩
三町二丁目一部（1～6、13～16）	木田 和敏
三町三丁目	末光 康子
三町一丁目一部（1～3、10、11）、三町二丁目一部（7、10）	日野 昭
三町一丁目一部（4～9）、三町二丁目一部（8、11、12）	細川 智子
三町二丁目一部（8、11）	酒井 明美
松本一丁目	仙波 正
松末二丁目一部（9～12）	吉田 直子
松末二丁目一部（9～12を除く）	武田美智子
東本一丁目、東本二丁目一部（9～13）	関 豊
東本二丁目（1～8）	清水 敏明
主任児童委員	山本 敦子
主任児童委員	河本 鈴美